

令和4年度

# 長崎市「語りかけボランティア」養成研修会 中国帰国者ボランティア研修会「まなびや」

※語りかけボランティアとは、中国残留邦人のための傾聴ボランティアです。詳しくは、裏面を御覧ください。



開催日時

令和5年1月31日(火)  
13:00～15:15

参加費  
無料

開催場所

長崎県勤労福祉会館 3階 大会議室  
長崎市桜町9-6

対象

語りかけボランティア登録希望者等

内容

センター運営事業について  
九州中国帰国者支援・交流センター

語り部による体験発表  
中国残留邦人等の体験と労苦を伝える  
戦後世代の語り部

介護保険説明及び高齢者とのコミュニケーションについて  
施設職員・語りかけボランティア

のみの参加も可 全内容受講者には、「修了証書」を発行いたします。

## 申し込み・問い合わせ先

九州中国帰国者支援・交流センター（担当：関）  
〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟4階  
TEL 092-589-6667 FAX 092-589-6665

# 中国帰国者をご存知ですか

1945年(昭和20年)当時、中国東北地区(旧満州地区)には開拓団など多くの日本人が居住していました。

同年8月9日、突然のソ連参戦により、人々は居住地を追われ、逃避中や収容所で飢餓や伝染病等により死亡者が続出するという悲惨な状況にありました。

このような混乱の中、肉親と離別して孤児となり、中国の養父母に育てられたり、中国人の妻になる等してやむなく中国に留まった方々を「中国残留邦人」といいます。そして中国から永住帰国された中国残留邦人とその家族を「中国帰国者」と呼びます。

## 中国帰国者の現状

中国残留邦人の皆さんは、国外に残留を余儀なくされ、長年筆舌に尽くせないご苦労がありました。ようやく日本に帰国された時は、年齢を重ね中高年となっていたため、日本語の習得をはじめ、日本社会に適応していくには大変な困難がありました。なかには20年、30年経っても話せない、適応できないという人も見受けられます。

## 九州中国帰国者支援・交流センターの役割

こうしたことから、厚生労働省は、中国帰国者の自立を支援するとともに中国帰国者問題について国民の関心と理解を促すため、自治体や民間団体等に対して広域的なサポートを行うための拠点として、平成13年から順次、全国主要都市に「中国帰国者支援・交流センター」を設置しています。

本センターでは、日本語学習支援や、生活相談、就労相談、介護支援等を通じて、中国帰国者の生活支援に取り組んでいます。



## 「語りかけボランティア」について

介護サービスを利用する中国帰国者1世代の方々が、介護事業所職員や周りの利用者等とのコミュニケーションがうまくとれずに、孤立したり、生活習慣の違いから、提供される介護サービスが合わないなどして、介護サービスの利用に困難を感じないよう、介護事業所等を訪問して、中国語で帰国者の話し相手になっていただく方を「語りかけボランティア」といいます。

## 感染症予防対策について

- (1) 受講者の間隔をあけて着席いただきます。
- (2) 消毒液の配置と研修会の換気を行いますので、御協力をお願いいたします。
- (3) 受講にあたっては、各自で当日の体温・体調チェックをお願いします。発熱や咳などの症状や体調不良の場合は、受講を御遠慮ください。
- (4) 研修中は常にマスク(ガーゼマスク、布マスク含む)の着用をお願いします。なお、マスクを着用せずに来館されると入館できない場合があります。

----- 切り取り -----

令和4年度長崎市「語りかけボランティア」養成研修会  
中国帰国者ボランティア研修会「まなびや」

受講申込書(申请表)

令和 年 月 日

氏名	ふりがな	性別	男・女
住所	〒		
電話	( ) -	FAX	( ) -
職業		E-mail	
研修会のことをどこで知りましたか			
備考			

### 申込方法(申請方法)

- ・郵送またはFAXでお申込みください。(请邮寄或用传真申请)
- ・上記内容をメールで送信いただいても結構です。(也可以通过电子邮箱或电话申请)
- ・登録申込書のデータが必要な方は御連絡ください。(需要「登录申请表」电子邮件者请与中心联系)  
(E-mail : [kyushu-center@tiara.ocn.ne.jp](mailto:kyushu-center@tiara.ocn.ne.jp))